ゆざ
http://www.town.yuza.yamagata.jp/
No.166
10月定例議会号
令和6年12月1日発行

議会だより

おっきいのぉ

関連記事…P.20

10月定例会

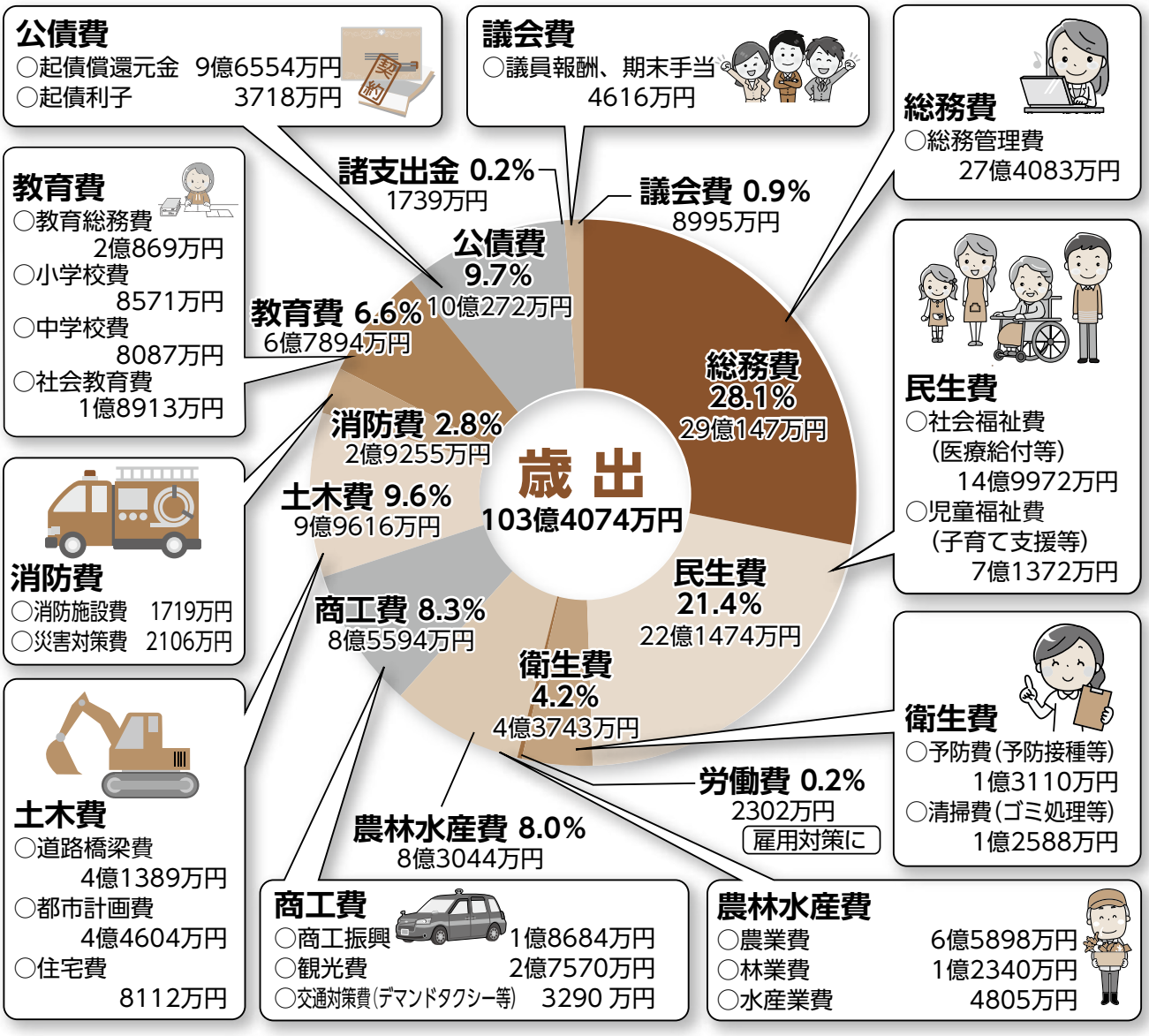
令和5年度決算……P.2
政策提言……P.6
令和6年度補正予算……P.8
町政を問う　一般質問……P.10
補正予算修正案可決……P.15
管内視察レポート……P.16
シリーズ遊佐人⑲（ぽっかぽかクラブ）‥P.19
議会クイズ・編集室より……P.20

＊本文中の年号「令和」は省略しています。
＊単位未満は四捨五入により合計と一致しない場合があります。

健全化維持へ

一般会計 歳出
103億4074万円
前年度比　4億3223万円(4.4%)の増

特別会計と町債残高
- 国民健康保険会計は県が広域運営しているが、町単位の収支となる。5年度末の基金残高は6007万円となり、基金の先細りが心配される。
- 特別会計への繰入状況と、町債残高はP3下の表にまとめた。



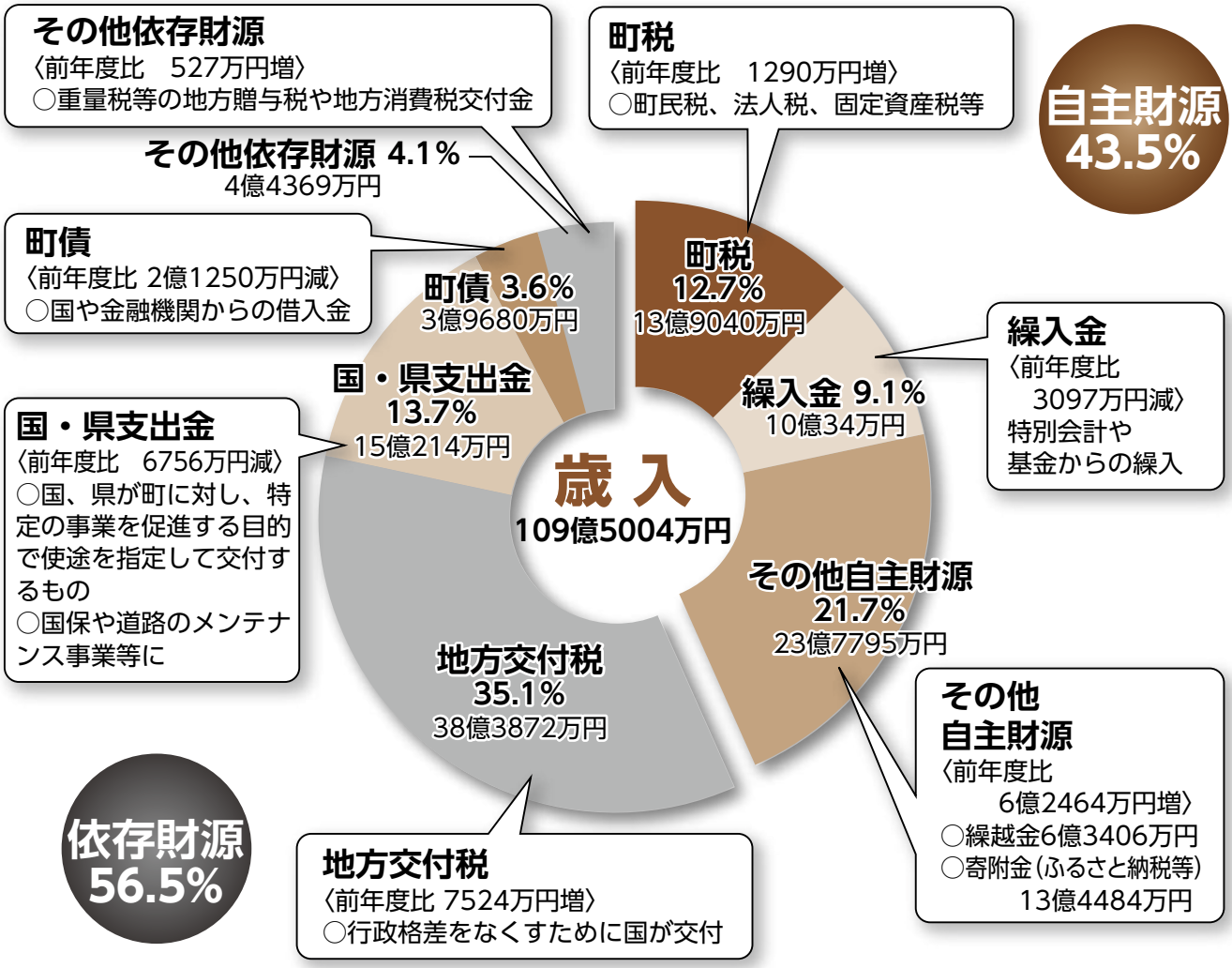
特別会計決算

会計区分	国民健康保険	介護保険	後期高齢者	公共下水道	地域集落排水
歳 出 額	15億9469万円	18億5037万円	2億665万円	6億2689万円	7228万円
前年度比	5516万円増	5762万円減	1065万円増	7406万円減	1577万円減

水道事業会計
- 収益的収入　3億8758万円
- 収益的支出　3億7815万円
- 純益　943万円

令和5年度決算認定 厳しい財政状況の中、

一般会計
- 歳入総額109億5004万円、歳出総額103億4074万円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は5億7222万円の黒字額となっている。財政の弾力性を示す※経常収支比率（欄外に解説）は4年度より0.3ポイント低くなり88.0%であり、さらなる経常経費の削減が望まれる。



構成比については、小数点以下2位を四捨五入しているので合計が100%にならない場合があります。

町債の年度末残高

会計区分	5年度	4年度
一般会計	89億6859万円	95億3733万円
特別会計	34億5915万円	38億5510万円
合計（A）	124億2774万円	133億9243万円
その他（B）	7億9042万円	8億4618万円円
総合計（A+B）	132億1814万円	142億3861万円

基金残高

区　分	5年度末　現在高
財政調整基金	10億7948万円
遊佐町ふるさと基金	6億7764万円
遊佐パーキングエリアタウン整備基金	7億9312万円
遊佐町義務教育施設整備基金	2億9568万円
遊佐町公共施設総合管理基金	2億2808万円
その他の基金	6億7672万円

※経常収支比率：地方税、地方交付税などの経常的収入に対し人件費や公債費(借金の返済)など必ず支出しなければならない経常的な経費の割合。70%～80%の間が望ましい。

決算審査特別委員会 10月17日・18日

ふるさと納税寄付金の大幅増により、2年ぶりに税収入が人件費を上回った

決算審査…予算執行が適正であるかをチェックするとともに、次年度の予算編成に改善と提案を求める場です。

決算審査特別委員会
委員長　斎藤 弥志夫
副委員長　渋谷　敏

産業課

ペイペイ事業の検証

問　実績を踏まえペイペイ以外への展開を求めるが町の考えは。（今野 博義 委員）

答　紙商品券の自由販売型は、事務処理がかなり膨大で費用も大きい。配布型なら可能かとは思うが、今後検討したい。

チャレンジファーム事業は

問　予算に対する執行率が47・4％と低い。その理由は。（渋谷 敏 委員）

答　新規就農者の増加に期待して予算を確保していたが、残念ながら対象者がいなかったため。

若者を中心としたビジネス創出事業

問　地域の事業者の顔が見えない。5年度に関連団体等との会議は行ったか。（菅原 和幸 委員）

答　商工会等との会議はないが、「ユザゼミ」ワークショップには町内事業所数社から参加していただいた。

「ユザゼミ」の様子

地域力創造アドバイザーとは

問　外部委託だが、事業内容と委託料の財源は。（那須 正幸 委員）

答　国が認定する専門家から、地域活性化に向けた取り組みに指導や助言をいただく制度で、財源は特別交付税措置。

共存の森運営事業の内容は

問　生活クラブとの共同宣言に基づく森林再生事業の活動内容は。（渋谷 敏 委員）

答　しらい自然館と連携し、散策や下刈り、毎木調査、草木染体験の他、森づくり講演会等の事業を行っている。

業務委託後の検証が不十分

問　HPの管理など委託後の検証と追跡が不十分と考えるが町の見解は。（今野 博義 委員）

答　業務委託をして掲載した内容の更新を怠っていた。検証が不十分であり、速やかに対応する。

鳥獣被害軽減モデル事業は

問　年々増加する鳥獣被害の中で、イノシシ対策で行った内容は。（渋谷 敏 委員）

答　県と協調して、個人2名に電気柵の購入補助（補助率1／2、上限額10万円）を行った。

地域生活課

河川の除草は町負担増の傾向では

問　4年度から町が実施している。単価増で事業費が増額になっているが。（菅原 和幸 委員）

答　労務単価の上昇、機材の部品、燃料費等の高騰もあり、町負担分は段階的に増額している。

総務課

一般会計所属基金の活用方針

問　変動のない基金や大きくなる総額の活用方針は。（遊佐 亮太 委員）

答　基金は設置条例に基づき、各基金の目的に沿って積立て、取り崩して活用している。

健康福祉課

社会福祉費の繰越額

問　社会福祉費の6年度への繰越額が多くなっている理由は。
（伊原 ひとみ 委員）

答　1月補正予算計上の、均等割のみ課税世帯に10万円を支給する臨時交付金と事務費の繰越によるものである。

子どもの居場所作り

問　小学校統合による新たな子どもの居場所作りが急務と考えるが。
（本間 知広 委員）

答　児童数の推移やニーズを考慮し、放課後児童の受け皿の拡充や確保について、中長期的な視野に立ち具体的に検討を進めてきたいと考えている。

介護保険特別会計黒字と基金

問　例年と比べ黒字幅が大きいことと、積み上がる一方の基金について。
（遊佐 亮太 委員）

答　介護給付費の支出が少ないことが要因である。基金の活用は高齢化率や介護給付費等を確認しながら検討する。

子ども達の居場所作りは重要

教育課

通学対策費不用額が大きい

問　バス停とスクールゾーンの通学対策整備は万全に行われたのか。
（那須 正幸 委員）

答　全てのバス停の現地確認を行い、区長と協議の上必要な対処を行った。内容に応じ他課とも連携して対応している。

スクールガードリーダーの役割は

問　「地域のつなぎ役」も担うと認識する。町内での人数と活動の現状は。
（菅原 和幸 委員）

答　本町には2名おり、担当地区の巡回や通学路の点検等を行い、学校や関係機関と連携し登下校の安全を支えている。

企画課

国際交流事業負担金

問　例年よりかなり増額している。内訳は。
（伊原 ひとみ 委員）

答　ソルノク市への中高生派遣事業を4年ぶりに再開したことと、民間交流40周年記念事業を実施したため。

遊佐高魅力化事業

問　遊佐高県外留学生の寮、寮母にかかった費用は。
（駒井 江美子 委員）

答　寮5棟分の賃借料として289万6千円、寮母謝礼として1195万8千円支出した。

指定管理委託料の内訳

問　「鳥海ふれあいの里」の委託料の管理。施設名と委託先は。
（伊原 ひとみ 委員）

答　管理施設は「遊楽里、あぽん西浜、大平山荘」であり、委託先は遊佐町総合交流促進施設株式会社となる。

移住定住事業の現状

問　5年度までの移住者の実績から、事業の総括的な所見は。
（本間 知広 委員）

答　3年度からの実績では横ばいで推移しているが、一人でも多く移住に繋がるよう引き続き取り組んでいく。

町民課

戸籍総合システム維持費とは

問　戸籍総合システム維持費とは、どのようなものか。
（駒井 江美子 委員）

答　戸籍が電算化され戸籍総合システムを導入し戸籍業務を行っている。その保守管理経費となる。

政策提言

DXの推進

地域防災計画の強化と、実効性のある自主防災組織作りの

活用など、迅速でわかりやすい情報の提供を。

拠点の施設となるよう、最大限の努力を。

防災グッズ 日頃からの備えを

高まることにより、医師や介護支援者の不足が懸念されるこを。

現状を踏まえたDX推進を。

「人口の21%」を越えた社会を「超高齢社会」という。

超高齢社会をのりきろう

村こども計画」の策定を。

賃貸住宅の拡充を。

町外広域に利用できる交通機関の確保を。

デマンドタクシーの拡充を

等の適正管理

考え方を条例などで明確に。

「ゼロカーボンシティ宣言」

推進室」を中心に森林吸収源の必要性の検討を。

に引き継ぐため、森林整備の方針を明確にし、事業の推進を。

鳥海山の恵みを将来に引き継ぐ

より良い町に 願いを込めて

遊佐町議会では毎年、**町政の重要課題**に関し、**町に**対して政策提言を行っています。6年度は9月臨時会で議決した、右の5つの提言を行いました。

今年度の提言が次年度の町の政策に生かされるよう、今回から、提出の時期を9月に変更しました。議会は町に対し、提言の趣旨を十分にくみ取り、**適切に町政に反映**させるよう求めます。

議会だよりには提言の要旨を載せています。
全文は左の二次元コードからご覧ください。

提言1 防災・災害対策と

1. 災害時に早急な避難所開設を目指すにあたり、推進を。
2. DX化の推進による災害時の緊急速報メールの
3. 旧小学校は、避難所機能を兼ね備えた防災

提言2 医療福祉の充実

1. 高齢化による医療機関や介護施設への依存がとから、関係機関で現状を把握し将来の展望
2. 町も含めた福祉関係機関で、※超高齢社会の

※超高齢社会：高齢社会が進行し、65歳以上の割合が

提言3 人口減少問題

1. 「子育てしやすい遊佐町」の実現に向け、「市町
2. 若者・子育て世代が移住定住しやすいよう、
3. 通勤や通院に、「デマンドタクシー」の拡充や

提言4 遊佐町公共施設

1. 施設の一般事業者への貸し出しは、基本的な

提言5 自然環境保護と

1. 森林はCO_2の吸収源である。「エネルギー政策
2. 先人から受け継がれてきた鳥海山の恵みを将来

補正予算審査特別委員会

10月10日

営農型太陽光発電事業に「待った」

設備導入実証実験事業1000万円を削除する修正案が可決

補正予算審査特別委員会
委員長　駒井　江美子
副委員長　本間　知広

補正予算

8億1800万円を追加し、132億4100万円に。歳入ではふるさと納税寄附金1億円を、歳出では財政調整基金に2億8611万円、浸水住宅復旧支援事業に1億1400万円他を計上した。

営農型太陽光発電の設備導入実証実験事業に1000万円計上されたが、会社設立の理由や事業目的が不明確なことから事業費1000万円を削除する修正案が可決された。

他の主な補正予算

ふるさと納税事業……8800万円
学校給食無償化事業……2339万円
除雪経費……4050万円
湧水の里 水製造プロジェクト……78万円

産業課

再エネ実証事業で何を検証

問　随意契約による無実績事業者採択で何を検証する考えか。（今野　博義　委員）

答　町内への再エネ導入推進のため設立された目的会社が行う「PPA事業」の、事業実現性の検証を行うもの。

遊佐うまいもの支援事業は

問　餅加工施設への補助により期待される町への経済効果は。（渋谷　敏　委員）

答　事業者が今後製造を開始する餅は、生活クラブ生協へ販売予定であり、新・道の駅での販売他経済活性化に期待したい。

ふるさと納税返礼品と米不作の影響は

問　返礼品は米の割合が大きい。6年産米の状況をみての1億円増額か。（菅原　和幸　委員）

答　米不足により、6年度のふるさと納税額は伸び悩んでいるが、今後新米が出始め、冬にかけての伸びを期待しての増額。

コンサルによる経済波及効果

問　アワビ養殖事業へのコンサル起用により今後の事業展開はどうする。（今野　博義　委員）

答　養殖事業による経済波及効果をしっかり示し、分析した上で、今後の事業計画内容を見直していく。

防風柵設置委託料

問　松の保護対策の柵設置、早急に必要になった理由は。（那須　正幸　委員）

答　青塚地内にR4に植林した松が90％枯死してしまったので、対応策として内陸側（東側）にも一列設置するもの。

ふるさと納税の返礼品の米

問　返礼品の94％が米であり、年間を通して安定的な米の確保が大切。（斎藤　弥志夫　委員）

答　米の確保は昨年から課題で、主要な事業者には提供を強くお願いしている。事業者の増加も図り、年間の確保に努める。

総務課

防災備蓄品整備支援事業

問　水害を受けての新規支援事業。発電機等の購入も対象か。（伊原　ひとみ　委員）

答　発電機等の高額の防災備蓄品も対象ではあるが、限度額6万円の2分の1（3万円）までの補助金である。

ポータブル発電機

教育課

学校給食無償化事業は

問　1年を通しての無償化か。期限があるとしたらいつからいつまでか。
（那須　正幸　委員）

答　通年ではなく、6年度の10月分から3月分までの小中学校の給食費6カ月分を町で負担し、半年間の無償となる。

学校給食無償化は6年度だけか

問　半年で約2300万円を要する。町長の発想による事業か。またその財源は。
（菅原　和幸　委員）

答　子育て世帯に寄り添う政策として、保護者の負担軽減を図りたい。現在は国の財政支援はなく、町の一般財源である。

地域生活課

除雪管理システムの構築事業

問　除雪車にGPSを設置する事業であるが、その台数と、設置の背景は。
（菅原　和幸　委員）

答　除雪車28台分であり、業者の除雪作業、事務作業の効率化と除雪路線の見える化を図るためである。

GPS導入で見える化を図る

浸水住宅復旧支援事業は

問　他の自治体より復旧支援事業の対応が遅くなった理由は。
（渋谷　敏　委員）

答　山形県との協調補助であるため、制度内容の調整、確認を慎重に行っていたためである。

木造住宅耐震診断委託料

問　自分の家の耐震強度に関心がある人が増えているがその理由は。
（那須　正幸　委員）

答　6年度の耐震診断申請増の理由は、1月1日に発生した能登半島地震の影響のようである。

健康福祉課

障がい児通所給付費増額

問　890万円ほどの増額だが、希望者が増えているのか。
（本間　知広　委員）

答　放課後等デイサービスの利用等で、人数、利用日数が増えており、増額となる見込みである。

災害援護貸付金

問　貸付け対象者の数及び貸付け条件は。
（佐藤　俊太郎　委員）

答　所得制限や貸付限度額などの条件があり、住居半壊の場合、限度額170万円、5件で積算している。

企画課

新・道の駅の工事費増

問　建築資材変更による設計費増はないか。事業計画変更は行うのか。
（遊佐　亮太　委員）

答　レイアウトは大きく変わらず、通常の設計費の範囲内での業務となる。事業計画を変更する程の改編ではない。

遊佐高校魅力化関連補正予算

問　当初予算にない追加施策はどのような効果を見込んでいるのか。
（遊佐　亮太　委員）

答　募集動画を作成し寮母の不足に対応すること、教育公開会議の開催による魅力化事業のPRを見込んでいる。

遊楽里の音響機器購入

問　音響機器更新による設備調整料の内容は。
（伊原　ひとみ　委員）

答　経年劣化による音響機器の更新に合わせ、その機器と附帯する設備等の調整となる。

新・道の駅設計変更

問　経費圧縮のためと思うが、どの程度圧縮すべきと計画しているのか。
（佐藤　俊太郎　委員）

答　基本設計完了時点で33億2千万円と試算。現時点で明確な削減額は出せないが、経費圧縮を念頭に丁寧に設計を進める。

一般質問

町の事業と課題を問う 10議員登壇

10月7日・8日

一般質問とは

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。

＊各議員の一般質問録画映像は二次元コードからアクセスしてください。

一般質問通告の要旨（通告順）

菅原 和幸 議員
○浸水や冠水の要因を把握し対応を

遊佐 亮太 議員
○遊佐高校魅力化プロジェクト

伊原 ひとみ 議員
○災害の対応と今後の課題は

本間 知広 議員
○今後の財政見通しは

那須 正幸 議員
○水門と排水機場の設置を早急に

今野 博義 議員
○指定管理受託事業者の決算開示を

斎藤 弥志夫 議員
○SDGsとカーボンニュートラル

駒井 江美子 議員
○町所有の施設管理は

佐藤 俊太郎 議員
○消防団員の装備品に関する検討は

渋谷 敏 議員
○遊佐町ふるさと納税の内容は

浸水や冠水の要因を把握し対応を

すがわら かずゆき
菅原 和幸 議員

質問者の動画が見られます。

問 7月25日の豪雨は、これまでにない爪跡を残した。「遊佐及び吹浦都市下水路区域」は、冠水の要因を把握し、県へ河川工事の早期完成を求め、町も排水機の設置を検討すべきではないか。

外水逆流と内水処理不能が要因

答 浸水被害の要因は想定を超える雨量と河川水位上昇による外水の逆流及び市街地の内水処理不能によるもので、浸水被害解消には排水能力を考慮したポンプ場設置の検討も必要と考える。

仮設ポンプによる強制排水
（吹浦都市下水路の末端）

災害で消毒液を各家庭に配るなど対応が優しいですね。（高瀬Sさん）
Re:災害ゴミの廃棄場所早期設定など、役場職員の努力、本当に感謝です。

＊各議員の一般質問録画映像は二次元コードからアクセスしてください。

遊佐高校魅力化プロジェクト

遊佐 亮太（ゆさ りょうた）
議員

質問者の動画が見られます。

問 5年3月策定の「山形県立遊佐高等学校魅力化推進計画」の内容は。

若い人材が活躍できるまちに

答 高校存続が第一の目的。その上で、産官学連携・協働による職業教育や、県外生受入れによる関係人口の創出を関係課と連携のもと推進し、若い人材が活躍できるまちづくりに発展させていきたい。

遊佐高校のさらなる魅力化を

災害の対応と今後の課題は

伊原（いはら） ひとみ
議員

質問者の動画が見られます。

問 7月の豪雨対応は町長はじめ町職員も困難を極めたと察する。対応は正解もない中、迅速性を伴うものと理解する。振り返っての反省点と今後の課題は。

反省点や課題を今後に活かす

答 反省や課題の中で特に今後に活かすべきものは、情報の迅速な伝達、要支援者に対する迅速な救助、避難時の物品等を避難者自身が準備する自助の強化、避難所開設時の必要な人員配置などである。

道路や農地も大きな被害

今後の財政見通しは

本間（ほんま） 知広（ともひろ）
議員

質問者の動画が見られます。

問 今般の豪雨により出た甚大な被害に対し、総額27億9千万円の補正予算を組んだ。そのうち約9億円が町の負担であり、5年度繰越金が使えない状況で今後どのように財源を確保していくのか。

歳出抑制し交付税・基金等を活用

答 事業の精査による不用額減額や事業費見直しで歳出を抑制する。財源は、災害で増額が見込まれる特別交付税、財政調整基金や特定事業に充当する各種基金、財政措置が有利な町債を活用する。

豪雨災害により多額の支出が見込まれる

今後も起こりうる水害に備えて治水対策をしっかりと。(高瀬Sさん)
Re:10月定例会でも議論しましたが、水門や排水機場など必要性を訴えていきます。

水門と排水機場の設置を早急に

那須（なす） 正幸（まさゆき） 議員

質問者の動画が見られます。

問 7月の豪雨では吹浦地区と六日町地区の都市下水路の内水氾濫により多くの被害を受けた。今後の対策として、吹浦には排水機場を六日町には水門と同時に排水機場の整備が早急に必要である。

越水等のメカニズムも検証し検討

答 遊佐都市下水路には月光川との合流部にゲートの設置計画がある。排水機場は現在作成している雨水出水浸水想定区域図を確認するとともに、越水等のメカニズムも検証し検討する。

町で唯一の江地排水機場

指定管理受託事業者の決算開示を

今野（こんの） 博義（ひろよし） 議員

質問者の動画が見られます。

問 議会で指定管理事業者の承認にあたっては決算内容は重要な判断材料である。事業部ごとの詳細を開示すべきであると考えるが、今後の町の対応は。指定管理事業者の否決もありうるが採択時期の変更は。

決算開示及び採択時期

答 事業部ごとの決算書は、内容精査に必要と判断されるため開示する。採択時期については、3月定例会に諮ることが通例であったが、改めて検討する。

指定管理施設
遊佐町総合交流促進施設

SDGsとカーボンニュートラル

斎藤（さいとう） 弥志夫（やしお） 議員

質問者の動画が見られます。

問 カーボンニュートラルを単発で実行するよりも17のSDGsの広範囲な取り組みの中で、できるところからCO_2の削減に取り組む方が合理的で現実的である。SDGsは環境問題の集大成である。

各計画理念に即し施策を推進

答 カーボンニュートラルやゼロカーボン事業は、手段・手法の一つにすぎない。総合発展計画や環境基本計画の理念に則り、施策を推進していくことがCO_2削減も含めた持続可能な地域社会の実現に寄与するものと考える。

環境問題はSDGs

今回の水害で、地域に関する防災の知識を高めていきたいと思った。（吹浦Hさん）
Re:「編集室より」にも書きましたが、本当に自分の命をどうやって守るのか、考えていかなければなりませんね。

＊各議員の一般質問録画映像は二次元コードからアクセスしてください。

町所有の施設管理は

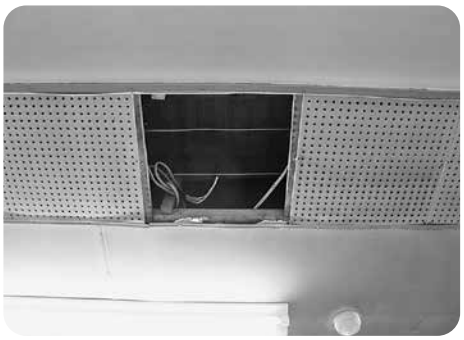
駒井（こまい） 江美子（えみこ）
議員

質問者の動画が見られます。

問 町所有の老朽化した蕨岡まちづくりセンターの移転は決まっているが、職員や利用者の安全確保に課題があるように見える。
町の施設管理のあり方、補修の進め方は。

安全確保を最優先に

答 建築から65年以上経過し、老朽化による雨漏りなど様々な箇所に影響が出ている。移転まで一定期間引き続き使用するため、職員や利用者の安全確保を最優先に必要な箇所の修繕対応を行う。



事務室天井が一部落下

消防団員の装備品に関する検討は

佐藤（さとう） 俊太郎（しゅんたろう）
議員

質問者の動画が見られます。

問 7月豪雨の際、吹浦保育園児の救出には、腰まで水につかりながら実施したとのこと。今後は救命胴衣・ゴムボート等の配備が必要と思われるが。

ゴムボートの増設配備を検討する

答 救命胴衣はポンプ庫や水防倉庫に約４００着備蓄している。水害時は救命胴衣の着用を徹底する。ゴムボートは和田と菅野の水防倉庫に配備しているが、十日町ポンプ庫と吹浦防災倉庫への配備も検討する。

訓練の様子

遊佐町ふるさと納税の内容は

渋谷（しぶや） 敏（さとし）
議員

質問者の動画が見られます。

問 ふるさと納税制度の寄附金は町の歳入に多大な効果を及ぼす。
近年の納税額は、町の主な返礼品である米不足の影響で変動が大きい。安定財源確保のための返礼品をどのようにする考えか。

水製造で全体のイメージアップに

答 引き続き米の確保に努めるとともに、現返礼品のブラッシュアップや「水製造プロジェクト」の展開により返礼品全体のイメージアップに繋げる。また、新規寄附サイトや情報発信方法も検討する。

8月臨時会の議案内容（一般会計補正予算他、2件）

議案番号	議案名	内　容
議57号	令和6年度遊佐町一般会計補正予算（第2号）	歳入、歳出にそれぞれ18000千円追加し、歳入、歳出それぞれ96億2300万円とする。
議58号	小型動力ポンプ付積載車の取得について	地方自治法第96条第1項第8号の規定により提案するもの
議59号	高瀬まちづくりセンター移転改修工事（旧高瀬小学校）請負契約の締結について	地方自治法第96条第1項第5号の規定により提案するもの

〈傍聴者　のべ3人〉

9月臨時会の議案内容（一般会計補正予算他、2件）

議案番号	議案名	内　容
議60号	令和6年度遊佐町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認について	令和6年7月25日の大雨被害により、緊急対応が必要な災害復旧及び被災者支援の事業実施のため
議61号	令和6年度遊佐町一般会計補正予算（第4号）	歳入、歳出にそれぞれ19億2700万円追加し、歳入、歳出それぞれ124億1300万円とする。
議62号	令和6年度　町道白木・宮海線栄橋橋梁撤去工事（右岸工区）契約の締結について	

〈傍聴者　のべ10人〉

10月定例会の議案内容（専決処分他、12件）

議案番号	議案名	内　容
議63号	令和6年度遊佐町一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認について	地方自治法の規定に基づき、10月15日公示予定の衆議院議員選挙執行のための専決処分
議64号	令和6年度遊佐町一般会計補正予算（第6号）	P8～P9に審議内容を記載
議65号	令和6年度遊佐町介護保険特別会計補正予算（第1号）	歳入、歳出にそれぞれ7600万円追加し歳入、歳出それぞれ19億9300万円とする。
議66号	令和6年度遊佐町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	歳入、歳出にそれぞれ850千円追加し歳入、歳出それぞれ2億4585万円とする。
議67号	令和6年度遊佐町水道事業会計補正予算（第1号）	収益的収入に5000千円、収益的支出に1000千円追加する。
議68号	令和6年度遊佐町下水道事業会計補正予算（第1号）	収益的収入に33200千円、収益的支出に1000千円追加し資本的収入に19200千円、資本的支出に19250千円追加する。
議69号	令和5年度遊佐町各会計歳入歳出決算の認定について	P4～P5に審議内容を記載
議70号	遊佐町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	遊佐町議会令和6年9月定例会が1カ月延期されたことに伴い、公表時期を1カ月延長する必要があるため
議71号	遊佐町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律の一部改正に伴うもの
議72号	遊佐町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険法施行規則の一部改正に伴い、地域包括支援センターの職員の人員に関する基準の改正
議73号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	令和6年7月25日の大雨災害により被災した町民への支援を促進するための条例を一部改正
議74号	山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	従来の被保険者証等が廃止されることに伴う規約の一部変更
議75号	令和5年度遊佐町水道事業会計剰余金の処分について	前年度繰越剰余金2億4718万円を加え、総額2億5098万円とする。

〈傍聴者　のべ35人〉

賛否が分かれた議案　10月定例会

○賛成　×反対

上程議案		遊佐 亮太	伊原 ひとみ	駒井 江美子	今野 博義	渋谷 敏	本間 知広	那須 正幸	佐藤 俊太郎	菅原 和幸	土門 治明	斎藤 弥志夫	髙橋 冠治	議決結果（賛成：反対）
	令6年度一般会計補正予算（第6号）に対する修正案	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	—	可決（7：4）
議71号	遊佐町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（10：1）
議72号	山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（10：1）

補正予算修正案可決

新規の太陽光発電実証事業に「No」

実績のない会社への委託理由、何を実証するか明確でない

10月10日の補正予算審査特別委員会で、農地などへ太陽光発電設備を設置する実証事業の委託料1000万円をめぐり、賛否がわかれました。

この事業は、「昨年ゼロカーボンシティ宣言を行い、具体的な活動をするためのもの」と町は説明しました。これに対し、委員たちからは町長の親族が関係する、今年立ち上がったばかりの会社に委託する理由が明確でないこと、農地などへ太陽光発電設備を設置して何を実証しようとするのかが見えてこない、などの質疑がありました。

農地への設置（イメージ）

採決にあたり、この事業の1000万円を削除する修正案が提出され、可決されました。

修正案に反対

渋谷（しぶや） 敏（さとし） 議員

地球温暖化やエネルギー問題が深刻化する中で、太陽光発電等のクリーンエネルギーへの需要が高まっている。農業が抱える様々な課題、さらには若者をはじめとする農家経営の基盤強化を図るためにこの事業は有効だと考える。

修正案に賛成

事業の趣旨は理解するが、7月25日の豪雨災害被害を受けて、復旧事業に多額の予算が必要な時期である。この時期の事業実施は、町民の理解を得られないと考える。

佐藤（さとう） 俊太郎（しゅんたろう） 議員

委託事業者の資本規模とこの事業に必要な経費を考えると、小規模にやって利益の出る事業ではない。ここで町が資金を出してしまうと、委託事業者が引くに引けなくなってしまい、資金繰りが苦しくなった際に町が繰り返し追加で資金を出す可能性がある。そのため、この事業に町は資金を出さないほうがお互いのためだと考える。

遊佐（ゆさ） 亮太（りょうた） 議員

総務厚生常任委員会

実施日 7月24日

委員会レポート（管内視察）

救命救急措置

命を救う救命の連鎖

救急車が到着するまでに、救命措置を行うことが生存退院率を上げるうえで重要。

今回は、胸骨圧迫とＡＥＤによる心肺蘇生を体験し、その有益性を感じた。万一そのような場面に居合わせた時は冷静かつ迅速な対応が必要。

救命救急士のご指導をいただく

《視察を終えて》

菅原 和幸 委員

元年度に「救急車心電図伝送システム」と、町内のＡＥＤ設置状況を確認した。

いつ起こるか分からない事態に対応する措置を改めて視察し、確認をした。

防災倉庫の現状

安全確保のための防災資機材は万全か

町内に設置している防災倉庫には、災害発生時の安全を確保する資機材が確保されている。

普段見ることがない防災倉庫の中には、非常食をはじめ、多くの資機材が整然と並ぶ。

防災倉庫の様子

《視察を終えて》

土門 治明 委員

食料品として保存食（ビスコ）、アルファ米、保存水、おむつ。避難所用資機材としてトイレ、段ボールベッド、調理用品、発電機、石油ヒーター、土嚢袋やスコップ等94品種保管されていた。

改装後のお試し住宅

住宅利用者の反応は

「駅前の家」は遊佐駅から徒歩2分で町内業者と町民ＤＩＹで生まれ変わった。

住宅内には無印良品の家具、食器類を備え居心地の良い空間となっていた。訪れた方はどのように感じられたのか。

改装された駅前の住宅

《視察を終えて》

今野 博義 委員

宿泊施設が限られている遊佐町において、無料でお試し宿泊できる施設は画期的。

課題は休日でも町内を移動できる交通網の整備である。

災害時の避難所対応

能登半島地震を教訓にした今後の対応方針は

災害時、避難所の開設は教育課、長期化した時の運営は健康福祉課と町の所管が異なる状況。

津波警報が発令されても避難所の開設をされないことや避難指示についての情報発信等の課題は多い。

《視察を終えて》

那須 正幸 委員

町では能登半島地震を受け、災害に対する管理体制を大幅に見直した。

避難所備蓄の整備、情報の伝達、消防団への協力要請など。今回の地震を教訓にして今後の災害対策につなげたい。

渋谷 敏 委員

元旦の震災による町の対応には課題が残った。

今回の教訓を風化させないためにも、理想とする初期対応や刻一刻と変化する状況把握等の体制強化を迅速に図りたい。

《視察を終えて・まとめ》

斎藤 弥志夫 委員

遊佐分署でＡＥＤの使い方訓練、吹浦防災センターで段ボールベッドと簡易トイレの組み立てを実習し、危機管理の実践を体得した。

防災情報の伝達はテレビ、防災無線、スマホなどがあるがまだ確立していない。

●あとがき

まさか、視察した翌日に経験したことのない豪雨災害が起こるとは…。

河川の洪水を目の当たりにして、昨日の防災倉庫が頭に浮かびました。

防災意識を高め、日頃から協力し合うことが、災害時に大切な命を救います。

吹浦防災センターで座学

文教産建常任委員会

実施日 6月28日

栄橋撤去の進捗

昨年に引き続いての栄橋の視察。今年6月議会で補正予算も承認され、視察当時は7月より解体工事に向けての整備作業が始まっていた。

ところが7月25日の豪雨災害で落橋部分が流されるという事態になった。作業の見直し等で遅れることのないよう願いたい。

《視察を終えて》

駒井 江美子 委員

いよいよ解体工事が始まる。進捗を見守っていきたい。

落橋部分の状況

アワビ養殖場

昨年は猛暑のため、アワビの生育に影響が出て、出荷量の大幅減となった。この反省を踏まえて、今年度は水温上昇を抑えるため、一つの水槽での飼育量を減らしたり、早めの出荷など対策に尽力している姿が伺えた。

《視察を終えて》

本間 知広 委員

8年度までの3年間で、事業の改善が図られるかが課題。

外の水槽

小山崎遺跡

職員の説明を受けながら現地の視察。本史跡は縄文時代の生活、文化を学び、体験活動をとおして交流が広がる場。地域の活性化につながる場を目的として整備されている。

《視察を終えて》

佐藤 俊太郎 委員

地下に眠る縄文遺跡。町民に対し、早期に展示できることを希望する。

小山崎遺跡で説明を聞く

おでこBASE

中高生が学校や家庭以外で暮らせる場所を目指した第3の場、サードプレイス。まだ始動したばかりだが自分たちで考え、行動する若者たちが集う場になるよう見守りたい。

《視察を終えて》

遊佐 亮太 委員

若者が自主的に様々な取り組みを行い、自分たちの居場所づくりを通じて「駅前の活性化」「にぎわい創出」を実現しようとしている。当町で暮らし、生活を営み続けるための基盤を自ら作ろうとする姿勢に感服した。

3月にできた若者たちの居場所

若者を中心としたビジネス創出事業

5年度から新規重要事業として行われている。町に住んで働く若者を増やしていくことを目標としている。

《視察を終えて》

伊原 ひとみ 委員

重要事業として注目。今後の活動に期待する。

コワーキングスペースの現状

エルパ内にある誰もが使用できるスペース。周知不足のためかまだ利用者が少ない状態。

《視察を終えて》

髙橋 冠治 委員

若者たちの居場所づくりの一環としてショッピングセンターエルパ内にコワーキングスペースを若者自ら立ち上げている。若者（中学生・高校生）の情報交換や交流の場として必要と思われる。

その他（視察先）
・月光川河口部

みなさんの思いを町政に

町民と議会の懇談会を開催します

令和7年2月1日(土)
午後1:30～
（概ね2時間程度）

■3カ所で開催

	会　場
A会場	遊佐町役場 議場
B会場	稲川まちづくりセンター
C会場	高瀬まちづくりセンター

豪雨の影響により
2月の開催となりました。
詳しくは後日配布のチラシを
ご覧ください。

お問い合わせ　議会事務局　☎72−5889

大崎市より義援金

7月25日の豪雨で当町では甚大な被害が出ました。それに対し、9月12日に姉妹都市の宮城県大崎市より後藤議長と鎌内副議長が来町。義援金15万円を頂きました。本当にありがとうございました。

シリーズ
遊佐人 19
Yuzajin

「家庭生活が第一」をモットーに
安心・安全を心掛けて

子どもたちは遊佐の宝。子どもたちを育む施設を訪ねます。今回は、遊佐学童保育ぽっかぽかクラブ（駅前一区地内）。佐藤美都指導員にお話をうかがいました。

現在の状況

「遊佐学童保育ぽっかぽかクラブ」は、平成7年に発足しました。発足当初は、駅前一区の公民館や個人宅の車庫の2階をお借りしていたそうです。その後トレーニングセンターの2階和室、遊佐幼稚園へと移り、平成26年に子どもセンターが新設された時に併設され現在に至っています。

6年度は定員50名のところ1～6年生までの64名が登録していて、放課後は30名前後、長期休みには40名が利用しています。生活スペースは16畳の板の間と21畳の和室、12畳の玄関スペース。天気の良い日には隣の遊佐中央公園で体を動かします。生活スペースには、棚やテーブル、キッチンスペースも含まれるので数字で書いたほどの広さは実際にはありませんが、狭いながらも工夫して子どもたちは遊びます。

おやつは重要

放課後の利用は1～3年生がほとんどで、下校してくるとおやつを食べ、宿題をしたり好きな遊びを楽しみます。特におやつの提供は学童（放課後児童クラブ）の運営指針で支援の内容の一つにあげられているくらい重要で、放課後の栄養面・活力面を考慮して適切に提供するように記されています。ぽっかぽかクラブではお菓子以外にも、季節の果物や裏の畑で採れた野菜、おにぎりやスープなどを提供する事もあります。

おやつは大事な指針の1つ

長期休みの過ごし方

長期休みになると、学校や吹浦・高瀬の子ども教室が休みになるため、放課後は利用しない子たちの利用もあり、人数が増えます。そして、朝からの1日利用になり過ごす時間も長くなります。長時間の生活に加え普段利用していない子もいることで、言い合いやケンカなどのトラブルが増えますが、じっくり長時間一つの遊びを楽しめるメリットもあったりします。この長期休み期間にはお楽しみ会も設けていて、ビンゴ大会や自分発表、会食などを楽しみます。

みんなで会食

こんな場所でありたい

今の子どもたちは学校や習い事など、毎日忙しいです。そんな中で、おやつを食べながらしゃべって、遊んで、寝転んでゆっくりする場所。集中して宿題を終わらせることができる場所。おもちゃや本から新発見ができる場所でありたいと思います。

忙しい子どもたちをサポート

最後に

遊佐町は以前、緊急時のために一応申し込む家庭が多かったのですが、最近はすぐに利用したい家庭がほとんどとなり、放課後児童クラブの需要が多くなっているように感じます。ぽっかぽかクラブも定員以上に登録児童がいるため、途中入所はお断りしているのが現状です。必要な時に必要な子が入れるような整備を町にはお願いしたいです。また、クラブに入らずとも天気を気にせず小学生が過ごせる施設があると良いなとも思います。

これからも「家庭生活が第一」をモットーに、安心・安全を心掛けて生活のサポートをしていきたいと思います。

狭いながらも楽しく遊ぶ

令和6年12月1日　第166号　発行／遊佐町議会　編集／議会広報常任委員会
〒999-8301 山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴202　☎(0234)72-5889　印刷／株式会社小松写真印刷

表紙の写真

大きなサツマイモがいっぱい！ 蕨岡地区わらびっこ探偵団

前回の続き、というわけではないが、今回はサツマイモ収穫の様子。蕨岡まちづくり協会のわらびっこ探偵団が10月20日に行ったもの。杉沢伝承館の裏に畑があり、7月の大雨でこの畑も浸水。影響が心配されたが、無事に収穫の日を迎えることができた。ただ掘るだけでなく、収穫したサツマイモの重さ対決もあった。自分が掘った一番重そうなイモを選んで計測。トップ3は、賞品もあるのでみんな真剣だ。このサツマイモは、「蕨岡大文化祭」で焼き芋として販売された。味はどうだっただろうか。

議会を傍聴してみませんか
12月定例会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例会が開催されます。

12月定例会は、本会議と補正予算審査特別委員会が議場で行われます。

ぜひ一度、傍聴してみませんか？

12月定例会の予定

12月3日（火）本会議・一般質問
12月4日（水）一般質問
12月6日（金）補正予算特別委員会・本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局（☎72-5889）にご確認ください。

議会クイズ

122

令和6年8月1日165号の議会クイズには34名の方の応募があり、33名の方が正解でした。

答え　①A　②C　③B

当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

問題

①令和5年度決算の歳出総額は。
A　約101億円
B　約103億円
C　約109億円

②ふるさと納税の返礼品は米が主であるが、その割合は。
A　88％
B　90％
C　94％

③政策提言で、旧小学校は何の拠点施設となる努力を求めるのか。
A　防災
B　観光
C　親睦

応募方法

ハガキに答えの記号（例①A　②B　③C）住所、氏名、年齢を書いてください。

正解者の中から10名様に米～ちゃんスタンプカードお買い物券1000円分を、お届けします。ご応募いただいた方の個人情報は、この議会クイズ以外の目的には使用しません。**町広報に折込みのハガキは使えません。**

なお、当選者は町民に限定させていただきます。

★**ハガキの余白に答えのほか議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。**★

あて先／999―8301
遊佐町遊佐字舞鶴202
役場内　議会事務局
締め切り12月20日
発表は次号です。

編集室より

7月25日の豪雨により、町には甚大な被害が出た。床上・床下浸水などの住宅被害をはじめ、道路や上下水道などの生活インフラ、農地や農道、林道など、町のあらゆる場所に豪雨は爪痕を残した。

あれから4ケ月ほど時間が経過したが、今でも雨が降るとあの豪雨を思い出してしまう。事実、短時間ではあるが激しい雨が降った日もあった。起こって欲しくはないが、今後も災害が起こることが心配される。

今回の災害を教訓にして、自分の命をどうやって守るか、一人ひとりが考えていかなければならないと改めて思った。

（本間 知広委員）

発刊人
議長　髙橋 冠治

議会広報常任委員会
委員長　本間 知広
副委員長　駒井 江美子
委員　斎藤 弥志夫
委員　土門 治明
委員　渋谷 敏
委員　伊原 ひとみ